

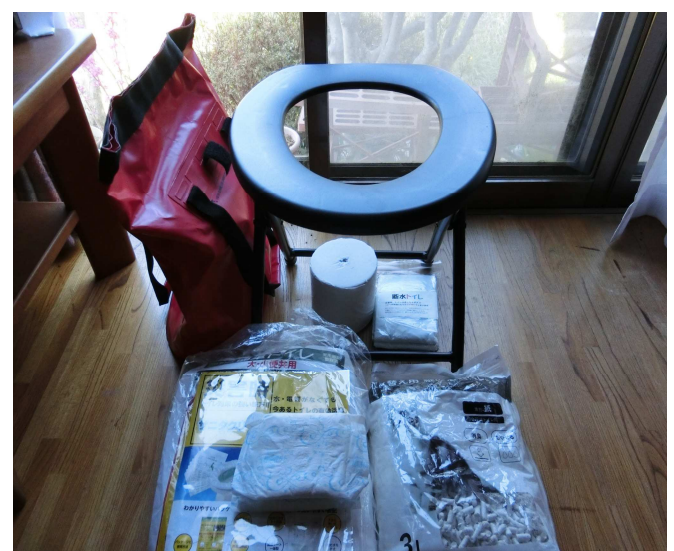
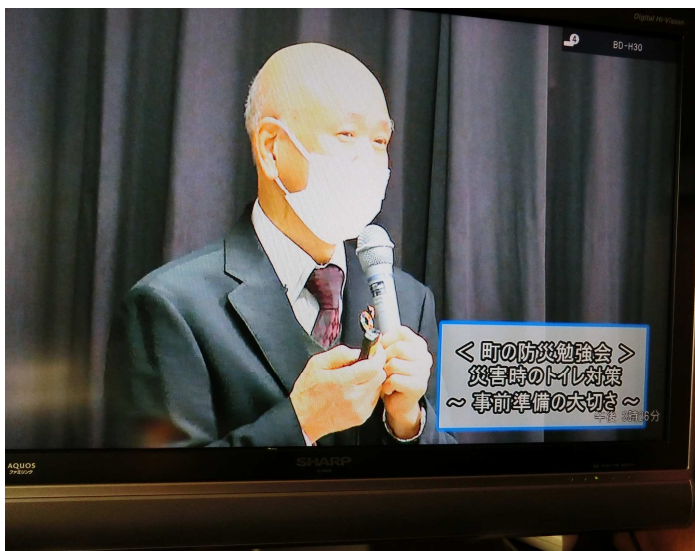
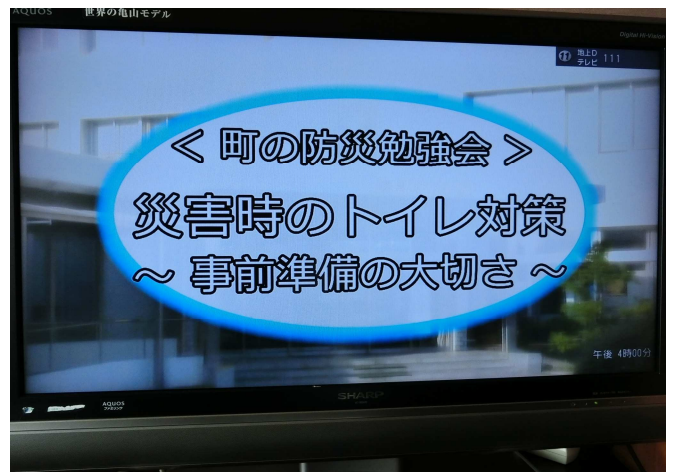
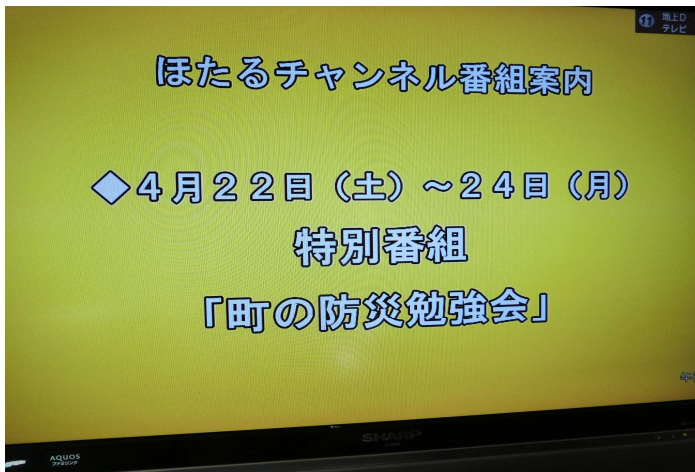
活動事例報告

有賀 元栄（長野県防災士・日本防災士会全国講師）

地元チャンネルにて3日間の放映

3月18日辰野町で開催された「町の防災教室」の第2部で講演した「災害時のトイレ対策・事前準備の大切さ」が、4月22・23・24日の7時～23時まで連続放映された（55分講演、5分間町からのお知らせ）。過去各報道関係に、防災の話や活動紹介で出演したが1回のみ、長くて20分。こんなことは初めての事でした。第1部は「地質関係」でしたので今回は放映されませんでした。

災害支援と医用工学に携わった経験を活かした内容でお話しました。荒天の中、町危機管理の予想を超える80の方が聴講（女性の方が半数以上）。参加者から「この話は、町民の方が聞く機会を作って欲しい」との申し出から町が特別企画されました。



私の準備しているトイレ用品

令和5年度がスタートした。コロナも5類に移行したが、感染症が無くなったわけでも無い。感染対策をとりながら、今まで出来なかった分野への防災活動を行うべき行動を始めました。「生きる・いのちの大切さ」は万国共通。国交の有無に関わらずに携わっていきたい。いま、その一歩を踏み出しました。